



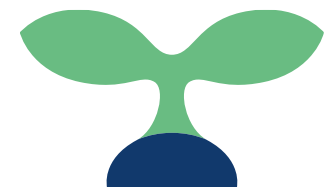
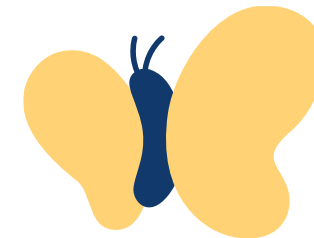
リユース推進に向けた提案

一般社団法人エシカル協会
末吉里花

ethical
association

目次

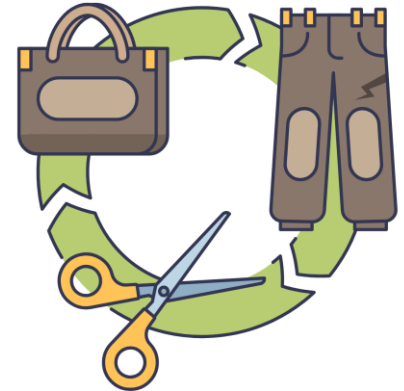
リユースの定義	3
日本におけるリユース事例	4
エシカル消費（リユース含む）に関する現状把握	5-8
リユース促進に向けた提案	9-18
Appendix	20~



リユースの定義（環境省）



リユース（再使用）とは
使用しなくなった物のうち有用なものを
製品としてそのまま使用すること、
または他の製品の一部分として使用すること



日本におけるリユースの事例

1. 個人レベルでのリユース

1. 子どもが大きくなったベビーカーを次の子育て世帯に譲る
2. 洋服や本などの不用品をフリマアプリやオークションで販売する

2. コミュニティでのリユース

1. 地域住民・事業者・行政が連携したリユース品循環システム
2. チャリティ団体への寄付を通じた再利用

3. ビジネスモデルとしてのリユース

1. リユースショップ（中古品販売店）での取引
2. インターネットを活用したリユースプラットフォーム
3. 自治体と連携したごみ減量・リユース促進の取り組み

4. 歴史的なリユース

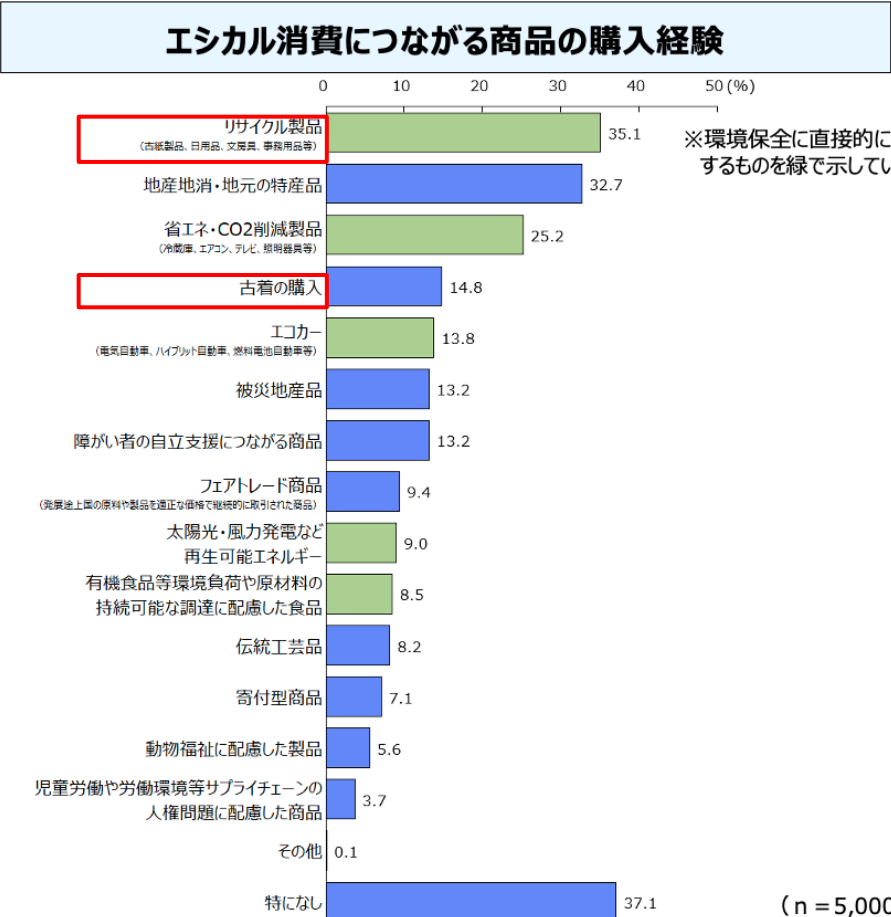
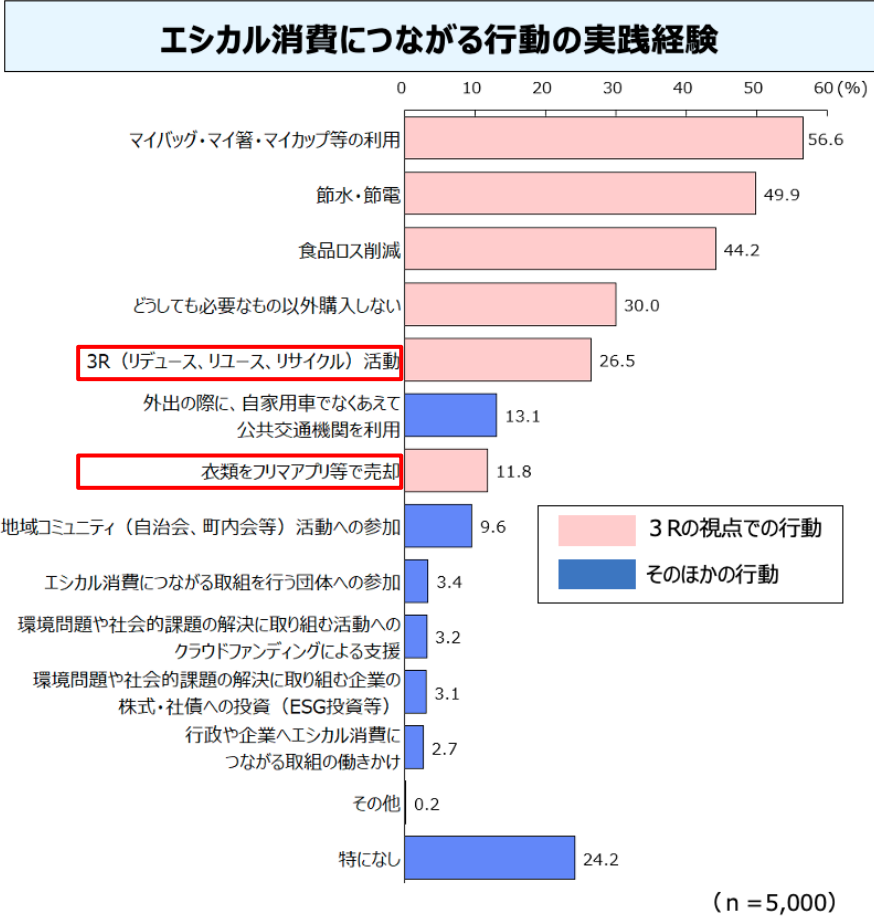
1. 江戸時代の日本では、「もったいない」精神のもと着物や履物などほとんどの日用品をリユースしていた
2. 瀬戸物や鍋も専門の修理屋によって修理され長期間使用されていた



エシカル消費（リユース含む）に関する現状把握①

課題と可能性①

- 3Rの視点(無駄使いしない/繰り返し使う/再生利用する)での行動が比較的上位に位置している。
- 一方で、環境問題や社会的課題の解決に取り組む活動や企業に着目した行動や、環境負荷や原材料の持続可能な調達に配慮した食品の購入を行っている人は少ない。

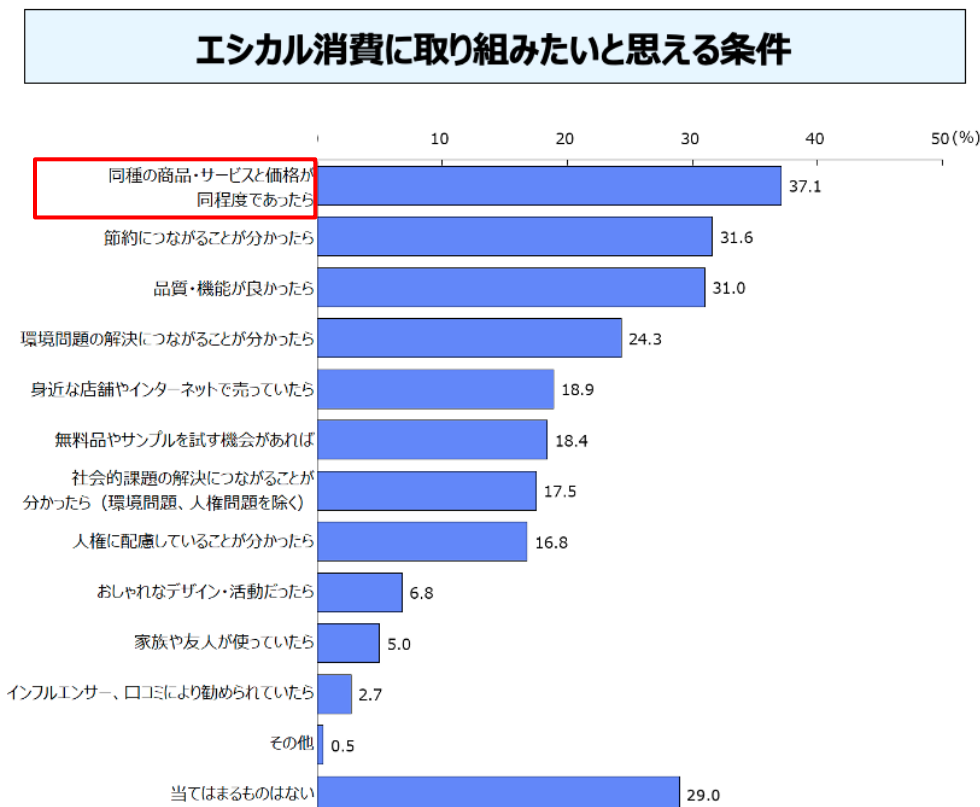
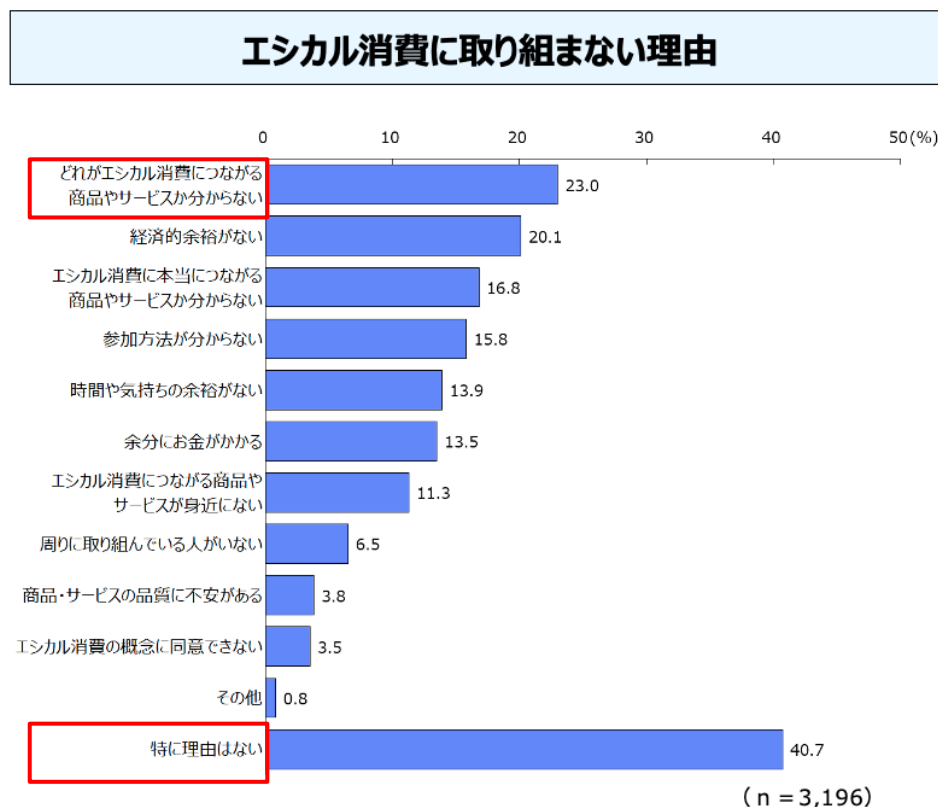


※環境保全に直接的に関係するものを緑で示している

エシカル消費（リユース含む）に関する現状把握②

課題と可能性②

- エシカル消費に取り組まない理由は、「どれがエシカル消費につながる商品やサービスかわからない」と回答した人の割合が高くなっており、行政や企業の取組が伝わっていない可能性がある。
「特に理由はない」も高く、エシカル消費の意義や必要性に対する理解不足等、意識面に課題がある可能性がある。
- エシカル消費に取り組みたいと思える条件は、「同種の商品・サービスと価格が同程度であったら」、「節約につながる事が分かったら」の順。



エシカル消費（リユース含む）に関する現状把握③

ユースの高い意識



エシカル消費（リユース含む）に関する現状把握④

日本における注意点

Q.あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか？

n = 世界
8685
日本 100

生活の質を良くすると思う

生活の質を脅かすと思う

世界

66%

27%

日本

17%

60%

リユース「業」の拡大

リユース促進に向けた提案①

「リユース」促進のために、「リペア」の促進を。

課題：

新品のお洋服の平均価格が劇的に低下していることによって、
お直しの金額を高く感じる消費者が多い。

実際に、お直し屋さんでは見積もり金額を聞いて
「新しく買った方が安いですね」と退店される方も多いという。
このような状況でリペア産業はなかなか育っていない。



解決策：

フランスを参考に、「お直しの補助」を
アパレル業界に、「拡大生産者責任」を



フランスの事例

サイズの調整やデザインにちょっとした変更を加えられるなど
リペアが伴うことによって、リユースできるアイテムが増加することもあるので
消費者が気軽にリペアができる補助が必要。



フランスでは、お直しに補助金が出る仕組みが構築されている。
これは拡大生産者責任（EPR）によって生産企業から徴収された資金を
管理団体が運用し、認定事業者であるお直し屋さんでは、消費者が割引価格でお直しを依頼することができる。
こうした仕組みによって、リペアをする習慣が醸成されていくと考えられる。
一度お直しを経験すると、自分がアレンジした洋服を着られる喜びや愛着を実感することができる。
その最初の助走を行う形で、5年間など、期間を決めて、お直しを補助するのが効果的ではないか。
そのためには、補助金の財源を確保する仕組みも合わせて検討する必要がある。
現在、生産企業は売るところまでしか責任を持っていないが、消費者の手に渡り使用される期間や
手放された後も含めて責任を持つという拡大生産者責任の考え方は
日本で衣服の長寿命化が促進されるためにも重要であると考えられる。

リユース促進に向けた提案②

「リユース」に新たな付加価値をつくる

課題：

エシカルな製品は「値段が高い」といって
手に取ってもらえない傾向が昨今ますます強くなっている。

参考) 消費者庁のデータ

一般の製品と値段が同等か安ければ購入するという結果



解決策：

リユースは新品のものより比較的安く手に入ることもあり

若者たちからは支持されつつある。

若者たちはリユース品にカッコ良さという付加価値をつけて

「リユース品＝おしゃれ」という認識を持っている。

また、自分が利用した後、別の人の手にわたることも考えて
「保持・利用している最中は大切に使う」という気持ちもある。

リユース産業が成熟していくことは

「消費者がお金を支払って新品の製品を手にして終わり」

という点の消費のあり方ではなく

新品でないものを手にし、それを大切に使い続け

必要がなくなる時に未来につなぐという循環の一部になることで

消費の定義が広がり、さらにそこに参画することで
新たな主体性を持つ生活者が生まれるということにもつながる。

リユース促進に向けた提案③

回収・選別・再流通をビジネスとして後押しする仕組みの強化を

課題：

「CEコマース推進」が資源循環促進法（経産省）で進もうとしているが、事業者がビジネスとして参画していくための仕組みがまだまだ不十分で、頑張っている企業が損をするようなことが起きている。



解決策：

個人間のリユースはもちろんだが、仕組みとしてのリユース推進も必須である。

（それがあれば消費者の選択肢も増える）
そのためには回収・選別・再流通をビジネスとして後押しする仕組みの強化が必要。

資源循環促進法（経産省）に加えて
特に回収領域は環境省にて後押しが必要。



リユース促進に向けた提案④

生活者が手元にある資源を出しやすくするための回収拠点の強化を

課題：

リユース促進のためには、生活者から手元（家）にある資源を
いかに回収するかが鍵であるが、
スマホや電子機器、洋服など十分に回収できていない。



解決策：

生活者の手元にある資源をもっとうまく回収する必要がある。

回収の強化については、下記ポイントが大切。

① とにかく便利な出し場所を準備する

② 自治体の資源回収場所を徹底的に増やす

場所例)

マンションなど集合住宅の共用スペース

コンビニ・郵便局・駅・商業施設など

生活の動線上に回収BOXを多く設置し

ゴミに出すのと同じくらいか、それより楽にする必要がある。

リユース促進に向けた提案⑤

リセール事業の後押しを

課題：

まだまだ日本の企業においては
リセールをすることに抵抗があるところが多い。
「リセールをしても儲からない」というイメージがある。



解決策：

自社の認定中古品を販売する「リセール」事業も拡大してきた。

店頭でリユース品が並ぶ選択肢が増えることは
消費者の選択の後押しになる。

リセールをする前提で企業がものづくりを始めれば
製品自体の寿命も伸びる。

もしかしたら一個あたりのコストはあがるかもしれないが

新しく安いものを大量に作って儲けるよりも

一着や一製品に2~3度の命を与え売ることができる

リユースのビジネスモデルが当たり前になってほしい。

ビジネスにとってリセールはチャンスであるので

ぜひ環境省の皆様にもどんどん後押ししていただきたい。

リユース促進に向けた提案⑥

自治体がリユースの取り組みに参画しやすくなるように リユースにおける有価物解釈のガイドライン検討を

課題：

市民から集める衣類に関して、専ら物として自治体が解釈し
有価物として判断できると良いのだが
それぞれの自治体に最終判断が委ねられているため
ゴミになってしまっているケースも多々ある。



解決策：

衣類における専ら物はもちろんのこと
「リユースできるもの」は自治体が積極的に有価物として
廃棄物の収集運搬許可の煩雑さを回避し
モデルをつくっていく必要がある。
リユースのモデル事業は評価できるが
その際の自治体における「法解釈」は
まだスピードが追いついていない。
環境省からもそれぞれの自治体への後押しとなる
「リユースにおける有価物解釈のガイドライン」策定
などを積極的に行ってほしい。

リユース促進に向けた提案⑦

「リユースファッションの日」をつくる

リユースファッションの定義：

サステナブルファッションの一部で
一度使用された衣服やアイテムをそのままの形で再使用すること。

リユースファッションの例：

- ・ 古着
- ・ 素材を再デザインして新たな価値を付加したアップサイクル衣類
- ・ フリマアプリやオークションなどで購入したリユース衣類
- ・ 家庭やブランドによって修理された衣類

8月8日の「リユースの日」に合わせて
クールビズのように「リユースファッションの日」を作り

リユースファッションを
よりみんなが楽しく実践できるものにして

日常やオフィス環境を変えていく。
ゆくゆくは多くの人が週1くらいの頻度で
リユースファッションを楽しむくらいの浸透を期待する。



8/8 「リユースファッションの日」

「リユースファッションの日」は
リユースファッションを気軽に楽しんでもらいながら
リユースファッションの持つ意義を認識してもらうことを目的とする：

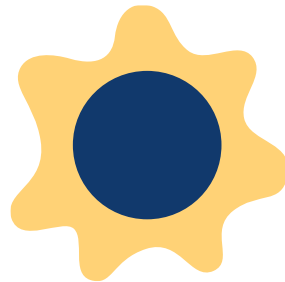


1. **環境負荷の軽減:** 新しい衣服の生産に伴うCO2排出や水資源消費を抑制
2. **資源の有効活用:** 一着の服をより長く使うことで廃棄量を削減
3. **経済的メリット:** 消費者にとって安価に良質な衣服を入手できる機会となる
4. **個性的なスタイルの確立:** ヴィンテージやユニークなアイテムを通じて自己表現が可能

リユースファッションは、単なる古着にとどまらず
ファッション産業全体の持続可能性を考える重要な視点を提案している：

「大量生産・大量消費・大量廃棄の従来のファッションビジネスモデルから
循環型の新しいファッションのあり方への転換を促す取り組み」

これは、ファッション業界に限らず
製造業全般において今後求められる転換・挑戦を先駆的行なっている例と言える。



我々エシカル協会は、
「エシカル」という捉え方を軸に
社会課題に関する現状や解決方法を
広く伝えてきました。

今後エシカル同様に、「リユース」に関しても
普及および社会における仕組みづくりを
ともに促進していければ幸いです。

Appendix



私たちは

エシカルという"ものさし"によって

世代や国境を超え

あらゆる人々とともに

教育と実践を通じて

社会の変革を追求しながら

誰もが笑顔になれる

持続可能な世界をつくっていきます。

私たちの考えるエシカルとは



エシカル＝エいきょうをしっかりとかんがえる

エシカルとは、人や自然、すべての生命に対する影響を考え、行動するための指針です。

もともとエシカルは、英語で「倫理的な」という意味です。

一般的には、「法的な縛りはないものの、多くの人たちが正しいと感じる、人間本来の良心に基づいた社会的なルール」であると言えます。

代表紹介

末吉里花 すえよし りか

一般社団法人エシカル協会代表理事

慶應義塾大学総合政策学部卒業。TBS系『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして世界各地を旅した経験を持つ。エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなる持続可能な社会の実現を目指して、講座や講演、政策提言などを通じて、エシカルな考え方やエシカル消費の普及啓発に意欲的に取り組んでいる。2021年から使用されている中学1年生の国語の教科書(教育出版)を執筆。慶應義塾大学 環境情報学部 特別招聘准教授(非常勤)、花王株式会社ESGアドバイザリーボード、明治ホールディングス株式会社ESGアドバイザリーボード、経産省産業構造審議会産業技術環境分科会資源循環経済小委員会委員、環境省中央環境審議会委員、環境省中央環境審議会循環型社会部会委員、東京都消費生活対策審議会委員、地域脱炭素政策の今後の在り方に関する検討会委員など、官民のエシカル/サステナビリティ関連の要職を多く務める。日本におけるエシカルの第一人者として認知されてる。

著書

『祈るこどもたち』(太田出版)/『はじめてのエシカル』(山川出版)

『エシカル革命』(山川出版)

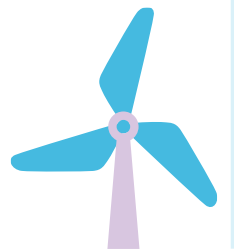
『じゅんぴはいいかい? 名もなきこざるとエシカルな冒険』(山川出版)

一般社団法人エシカル協会著書 エシカル白書(山川出版)



代表経歴

2015年5月（～2017年4月まで）	消費者庁「倫理的消費調査研究会」委員
2017年4月～	東京都消費対策審議会委員
2018年4月～	文科省「日本ユネスコ国内委員会広報大使」
2020年4月	東京書籍「中学家庭科」教科書に執筆
2021年4月～	環境省中央環境審議会循環型社会部会
2021年4月	教育出版「中学国語」、「中学社会公民」の教科書に執筆
2022年4月	開隆堂「高校家庭科」執筆
2023年8月～	環境省中央環境審議会循環型社会部会静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会
2023年9月～	経産省産業構造審議会産業技術環境分科会資源循環経済小委員会委員 中央環境審議会静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会委員
2023年10月～	消費者教育推進会議委員
2024年4月～	鎌倉市エシカル消費推進アドバイザーに就任
2024年6月～	地域脱炭素政策の今後の在り方に関する検討会委員
2024年12月～	日本ユネスコ国内委員会委員
2025年3月～	中央環境審議会委員
2025年4月～	慶應義塾大学 環境情報学部 特別招聘准教授（非常勤）に就任
2025年5月～	環境省グリーン製品の需要創出等によるバリューチェーン全体の脱炭素化に向けた検討会委員



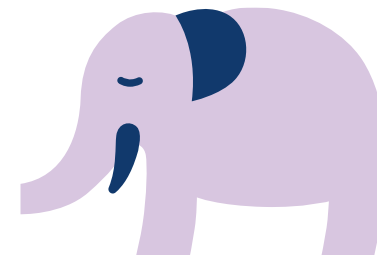
協会概要

協会概要	一般社団法人エシカル協会
設立年月日	2015年11月11日
代表理事	末吉 里花
所在地	東京都渋谷区上原1-3-9



協会沿革

2010年	代表 末吉がフェアトレード・コンシェルジュ講座を開講
2015年11月11日	フェアトレード・コンシェルジュ講座1期生と共にエシカル協会を設立
2015年11月～	フェアトレード・コンシェルジュ講座をエシカル・コンシェルジュ講座に改名
2016年4月～	エシカル協会法人会員制度開始
2016年5月	エシカル協会主催「エシカル・フェスタ2016」を鎌倉にて開催（以降毎年開催～2018）
2019年8月	消費者教育教材「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」開発協力
2020年5月	コロナ禍によって、全エシカル・コンシェルジュ講座をオンラインで開講 エシカル協会が第一学習社「高校家庭科」に取り上げられる
2022年5月	日本初の「エシカル白書2022-2023」を刊行
2023年6月～	法人向け講座（e-ラーニング）を開始
2023年11月	エシカル協会主催「エシカル・フェスタ2023」を5年ぶりに開催、のべ850人が来場
2024年3月	京都会場を追加し、エシカル・コンシェルジュ講座を東京・京都の2拠点で開催
2025年4月	エシカル×スポーツ×地域社会におけるサステナブル教育推進事業開始



学び、繋がる機会
エシカル・
コンシェルジュ講座



- 累計受講生は延べ2万3千人
満足度96%の学びの場
- 基本的に年2回、1講義2時間×全10回
開催される広く深く学べる機会
- エシカル業界の第一線で活躍する、
豊富な実績と専門性を備えた講師陣
- 所属を超えた価値観の近い仲間との出会い
キャリアアップや実践の後押しとなる
「エシカル・コンシェルジュ」修了証発行

企業同士の
横のつながりを創出
法人会員制度



- エシカルな活動を推進する
法人会員との交流の場である
法人会員ミーティングへの参加
(年4回程度実施)
- エシカル・コンシェルジュとの
対話の機会の提供

企業や自治体の
ESGやSDGsを推進
アドバイザー業務



- 団体や活動の目的に合わせて、
専門知識や見解を共有
例) ESGアドバイザーとして、
複数企業の定期ミーティングに参加
官公庁の委員会や審議会に、
委員として参加

取り組み

次世代に繋ぐ講演活動



エシカル協会では、エシカルの考え方やエシカル消費の普及啓発のために、全国各地を廻り講演活動を行っています。消費者、教育機関、企業、自治体など幅広い層に向けて、エシカルの基礎知識や世界・日本の最新情報を共に学び、日々の暮らしにどのようにエシカルな価値観を取り入れるのかなど、私たちにできることを伝えています。

取り組み

エシカルをスタンダードに行政機関との仕組みづくり



エシカル協会は、エシカルの専門家として、また消費者の代表として官公庁の委員会や審議会に参加しています。
教育機関、企業、自治体などさまざまなセクターの方たちと関わる立場として、
エシカルの基礎知識や世界・日本の最新情報だけでなく、消費者や社会のニーズを伝え、
社会にエシカルな価値観を取り入れていくための仕組みづくりに関わっています。

活動実績

エシカル・コンシェルジュ講座 (2017～2024)

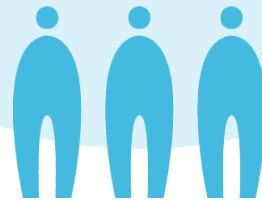
コンシェルジュ
修了証の取得者数

1,772 人

ETHICAL
CONCIERGE

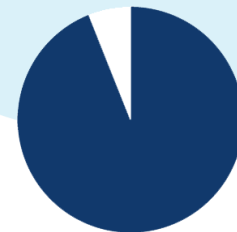
講座受講者数
(延べ人数23,880人)

2.3 万人



満足度

96%



活動実績

エシカル協会の活動に賛同・支援をしてくださっている法人の皆様

2025年5月時点

48 社



(敬称略・50音順)

アインズ株式会社

アスエネ株式会社(6月入会)

株式会社UPDATER

井関産業株式会社

株式会社イノウエ

株式会社Innovation Design

8thCAL株式会社

エシカルライフ株式会社

花王株式会社

喜多機械産業株式会社

株式会社九州フィナンシャルグループ

牛乳石鹼共進社株式会社

共英製鋼株式会社

株式会社クラハシ

グロースエクスパートナーズ株式会社

株式会社the continue.

サラヤ株式会社

株式会社三栄コーポレーション

Sansan株式会社

株式会社サンダース・ペリー化粧品

株式会社JEPLAN

株式会社ジャスティス

株式会社STACTs

DXOホールディングス株式会社

ディスカバリーズ株式会社

豊島株式会社

株式会社トラストリッジ

株式会社トレードワークス

日本自然エネルギー株式会社

株式会社日ノ樹

特定非営利活動法人 ビューファ

ファイブピースホールディングス株式会社

株式会社 Future Vision

BlueFarm株式会社

株式会社文英堂

ベリーベスト法律事務所

Mazza株式会社

ミヤザワ株式会社

明治ホールディングス株式会社

株式会社メルカリ

株式会社山櫻

雪ヶ谷化学工業株式会社

株式会社リアライズコーポレーション

株式会社リジェネーラコーヒー

株式会社リトルリーグ

株式会社ロイヤリティ マーケティング

株式会社ワントゥーテン

ワンネスアース株式会社

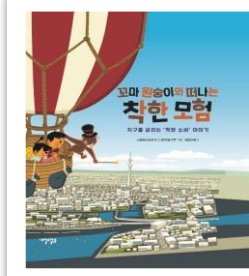
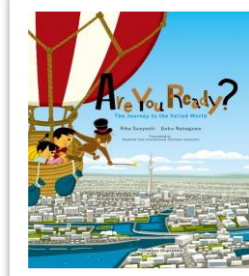
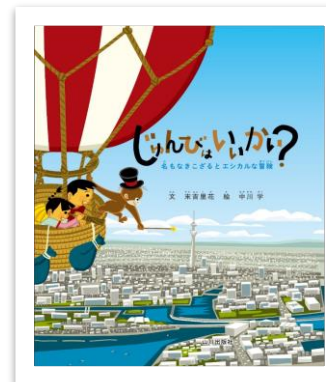
活動実績

教科書掲載

2020年4月	末吉が東京書籍「中学家庭科」教科書に執筆
2021年4月	末吉が教育出版「中学国語」、「中学社会公民」の教科書に執筆 エシカル協会が第一学習社「高校家庭科」に取り上げられる
2022年4月	末吉が開隆堂「高校家庭科」教科書に執筆
2025年4月	東京書籍「中学家庭科」、教育出版「中学国語」「中学社会公民」、第一学習社「高校家庭科」の教科書に継続掲載決定

書籍一覧

- 2016年 『はじめてのエシカル』
- 2019年 『じゅんびはいいかい?』
- 2021年 『エシカル革命』
- 2022年 『エシカル白書』



エシカル・コンシェルジュ講座

第15期エシカル・コンシェルジュ講座 ～これからを生きるみんなのための必須科目～

これからを生きる“みんな”のための「必須科目」



エシカル

教育

リジェネラティブ

ゴミ

気候変動

アニマルライツ

第15期

エシカル
コンシェルジュ講座

ethical
association

ファッション

再生可能エネルギー

障害

コモンズ

ソーシャルアクション



講座詳はこちら



期間 2025年3月1日[土]～7月26日[土] 会場開催(一部オンライン)・アーカイブ配信

受講者の声

株式会社I-neさんの例

受講履歴

2024年までに社員合計360名が受講

受講のきっかけ

会社のマテリアリティを検討する段階で、まず経営陣が受講した

継続の理由

講座を受講した社長の意志で、会社の方向性共有の一環として、「全社員受講」を目標に掲げた。以降、新入社員含めて継続して受講をしている。個人では中々探求が難しい社会課題だが、数ヶ月間でそれぞれの課題を深く、かつ網羅的に学べるため、学びやすいと感じている。講座を通して、部門を超えたコミュニケーションや連携などの効果も実感している。

受講した社員の感想



担当ブランドのものづくりにおいて、サステナ素材の採用は現在も行っているが、他のフェーズでもできるエシカルなアクションを探し、取り入れていきたい。

自部署の担当として、保証制度や返品制度を立て直し、まだ使える製品の廃棄を可能な限り減らすことを目標に頑張りたいと思います。

講座で学んだことを糧に、地域と連携したエシカルな取り組みを推進し、自分のスキルや知識を最大限に活かす形で社会に貢献したいと考えています。

今はエシカルの講義を受けたばかりということもあり自身意識高くもっていますが、定期的にエシカルってなんだっけ？と考えるきっかけもあればいいのかなと思いました。

エシカルの知名度アップのためにも、商品購入者を対象とした講座受講キャンペーンや小売り企業様向けの環境問題に関するワークショップの実施など、「知ること」に接することができる機会提供に寄与できれば面白いなと思いました。

受講者の声

前回14期受講者の感想（一部）

他の感想はこちらから：<https://ethicaljapan.org/article/concierge/6452>

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

何よりエシカル・コンシェルジュという繋がりができたことで、一緒にアクションをしたり、新しい場に誘っていただけたりするようになり、講座終了後も出会いと学びを得られ続けています。これからもこのご縁を繋ぎながら主に活動している「ごみの削減」について社会に広げていくべく、引き続きアクションしていきたいと思います！

第14期 穂原志穂

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

自分だけでなく子供達にゴミ分別や資源の事について教えやすくなった。他の分野についても分かりやすく教えていきたいと思っています。

第14期 前田紘子

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

まだ見ぬ未来の子どもたちに思いを馳せて行動できるようになりました。例えば、電気を再生エネルギーに変えたり、アニマルウェルフェアの観点で動物性食材の摂取を控えたりすることです。すべての考え方と行動において、環境負荷を小さくできるように考え、行動するようにしました。また、その考え方や行動変容をシェアしました。

第14期 大橋弘子

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

あらゆる事柄、モノに対してエシカルな視点を持てるようになり、それが行動に繋がっていくことにワクワクします。フェアトレードを推進する活動に携わっていますが、講座で学んだ幅広い知識と共に伝えていきたいです。

第14期 平野祥子

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

今まで知らなかった問題点を多く知る事ができて、影響をしっかり考える習慣が身に付きました。どの講師の方も充実した講義内容で非常に満足度の高い講座です。オンライン視聴期限があるのが自分としては忘れにくくて良かったです。今では卵は平飼いしか買いません。

第14期 七田伸也

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

エシカルな考え方に基づいたアクションが、社会課題の横断的な解決につながっていくことや、エシカルに関する様々な取り組みを学ぶことができました。また、受講者同士のつながりも貴重なものになりました。

第14期 M.K.

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

多岐に渡るテーマをシリーズで学び広い知見を得て、サステナブルな社会を築くためのヒントをいっぱいいただきました。実際に活動されている講師の方々から最新情報を混じえた講義で自分をアップデートできました。

第14期 清水雅彦

#わたしとエシカル

エシカル・コンシェルジュ講座を受けて

講座も10回あるようにエシカルを一言に表すことは難しいですが、エシカルを通じて一つのまとまりを生むことはできると思います。その一つのはまりがエシカルコンシェルジュ講座です。

第14期 zoo

#わたしとエシカル